

産後ママを厚くケアする専門宿泊施設

①⑨ マミーキャンプ東京ベイ (千葉県船橋市)



高級ホテルを思わせるロビーラウンジ

第1子出生時の母親の平均年齢は30.3歳(2012年)。高齢出産は20代と比べて体力が低下する。その上、核家族化で親に頼れず、地域との関係も薄れ、他者からの子育て支援が期待できない。女性の心身不安定な状態や育児知識不足などが、産後うつや児童虐待、育児放棄の原因となっている。そのため、重要性が指摘されているのが「産後ケア」だ。

世界保健機関(WHO)が産後ケアに関するガイドラインを作ったり、各国でも政策を進めたりしているが、日本の取り組みの遅れは否めない。このような

中で、医療法人白報会グループ(本部・東京都台東区)は2014年8月、産後ケア専門の宿泊施設「マミーキャンプ東京ベイ」を千葉県船橋市にオープンした。

女優の小雪さんが13年に韓国で出産したことが注目されたが、韓国は「産後調理院」と呼ばれる産後ケア施設が充実していることで知られる。白報会は韓国で産後調理院を展開する「マミーキャンプ」と業務提携し、3年をかけてノウハウを取り入れた。1泊が3万9000円から、日帰りが2万5000円(いずれも税別)と高額だが、母乳授乳ケアや産後の会陰部ケアなど本場韓国のさまざまなサービスを受け



通常のホテルのシングルルームより広めの「スーパーリアルーム」



韓国から輸入したビデ。会陰切開部分を清潔に保ち、痛みの緩和、傷口の早期回復に役立つ



骨盤ストレッチチェアが置かれた多目的ルーム



体を温めることで骨盤や筋肉の緊張をほぐす足湯(右)とヘッドスパ(左の個室)



産後の子宮収縮を促すハーブテント



宿泊している母親同士の交流の場となっているダイニングルーム

られる。韓国式の産後ケア施設は日本初。

マミーキャンプ東京ベイは京成本線船橋競馬場駅から徒歩5分、複合商業施設「ららぽーとTOKYO-BAY」に隣接する商業ビルの一角にある。ラベンダー色を基調にし、ゆったりとした空間は高級ホテルを思わせる。3タイプの部屋が計20室。サロンやヘッドスパなども備えている。出産直後の母親は足湯やよもぎ蒸し、ハーブティーなどで体を休ませながら、母乳の知識や赤ちゃんへの接し方などを学ぶ。赤ちゃんの面倒は専門的な教育を受けたスタッフが見てくれる。ダイニングルームは母親の集

いの場で、「ママ友」ができることもメリット。施設利用後も24時間子育て相談に乗ってもらえる。

マミーキャンプ東京ベイを運営する白報会の関連会社、株式会社モディッシュ(東京都渋谷区)の松永久美子副社長は「赤ちゃんに授乳する哺乳瓶の角度を少し変えただけで、激し泣きが直ったりします。そういうちょっとした知識が、児童虐待など最悪の事態を防ぎます。マミーキャンプ東京ベイでは心身の回復はもちろんのこと、細やかな育児指導などを通してお母さまを全面的にサポートしていきます」と話す。今後、各地への展開を目指している。